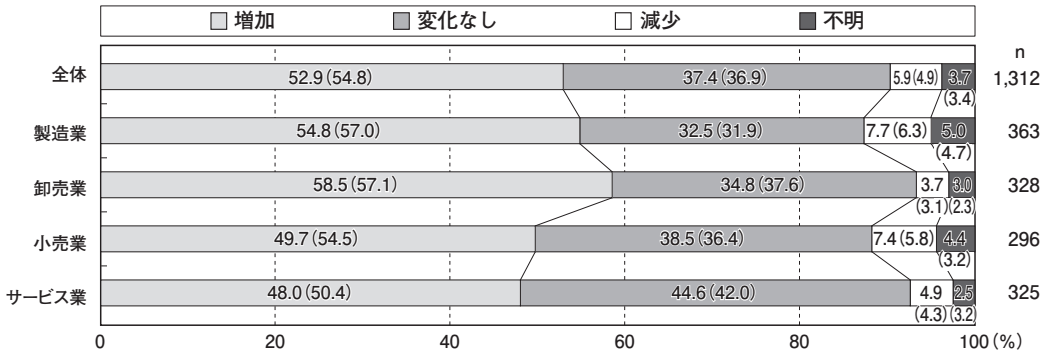


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）6月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が52.9%（前回調査 54.8%）と最も高く、「変化なし」が37.4%（同36.9%）、「減少」が5.9%（同4.9%）の順で続いた。

図表8 コストの変化（前年同月比）



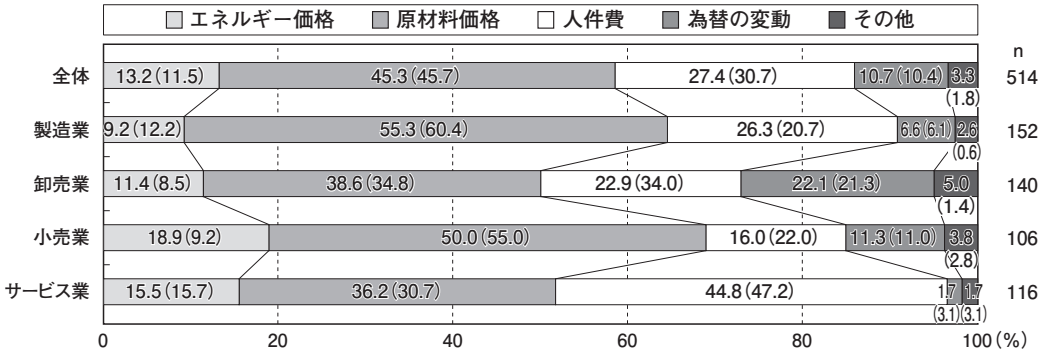
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和6年6月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が45.3%（前回調査 45.7%）と最も高く、「人件費」が27.4%（同30.7%）、「エネルギー価格」が13.2%（同11.5%）、「為替の変動」が10.7%（同10.4%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が55.3%（同60.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の22.1%（同21.3%）、小売業は「エネルギー価格」の18.9%（同9.2%）、サービス業は「人件費」の44.8%（同47.2%）がそれぞれ高い。

図表9 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表8）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和6年6月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。